

EC6 ひずみゲージ& 光電脈波測定システム



光電容積脈波（PPG）を用いて四肢の血流量の変化を
“リアルタイムで可視化する”センサー装置です。

当製品はひずみゲージを装着した状態で
電氣的に校正が可能です。

この校正方式はHokansonが開発した独自技術です。

ひずみゲージとPPGに対応したプレチスモグラフ

四肢の血液量・体積変化をリアルタイム測定。
動脈血流、反応性充血、血管内皮機能、静脈機能など、
幅広い血管機能研究に活用できます。

デジタル・アナログ両方の出力に対応。
RS-232デジタル出力により、NIVP3ソフトウェア（Hokanson）へ接続し、
データ記録や急速カフ加圧システムの自動制御を行うことができます。
もちろん、アナログ出力による外部ソフトウェア・機器との接続も可能です。



【ひずみゲージ】

独自の4線式構造を採用。
水銀タイプ、インジウム・ガリウムタイプがあり、
測定部位のサイズおよび種類に応じて注文できます。
測定対象となる四肢や指趾の周囲長と、
ゲージ測定部の長さが一致するよう設計。
これによりEC6は、電気抵抗の変化を
体積変化へ換算して測定することが可能になります。

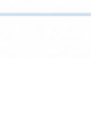


【急速カフ 加圧システム】

組み合わせて使用する事で、
カフによる血流制御と
血液量変化の測定を組み合わせた、
幅広い血管機能研究に活用できます。

EC6 の主な活用方法

四肢の血液量・体積変化を測定し、様々な血管機能評価に活用できます

活用分野	主な内容
 動脈血流 (動脈流入)	カフで静脈血の流出を一時的に遮断し、 動脈からの血液流入による四肢の体積変化を測定します。
 反応性充血	一定時間の阻血後にカフを急速に解除し、 血流が増加する反応を測定します。
 血管内皮機能	血管拡張を引き起こす刺激（薬剤投与、温熱、運動など）に対する 血流反応を評価します。
 静脈機能	静脈圧の変化に伴う四肢の体積変化を測定し、 静脈の容量やコンプライアンスを評価します。
 静脈逆流	カフ解除後の血液の逆流による体積変化を測定し、 静脈逆流の程度を評価します。
 最大静脈流出 (MVO)	カフの急速解除後に生じる静脈からの血液流出を測定し、 静脈機能を評価します。
 血圧・脈波	指に装着した光センサー（PPG）により、 血圧や脈波を測定します。
 末梢血管機能 (冷感など)	冷却刺激などに対する血流反応を測定し、 末梢血管の機能を評価します。